

平成30年度第2回 名張市地域公共交通会議 事業推進部会 議事概要

日 時 平成30年9月7日（金）

午後1時00分より

場 所 名張市役所 305会議室

出席者：（敬称略）

（1）委員

中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校 准教授）
豊永 育子 （公益社団法人三重県バス協会）
姫野 光子 （名張市老人クラブ連合会女性部副会長）
石川 裕三 （市民公募）
藤本 勝 （市民公募）
田摩 雄一 （市民公募）
田中 明子 （名張市地域環境部部長）

（3）事務局

都市整備部都市計画室3名

1. 開会

2. 議事

（1）ナッキー号と名張ケンコー！マイレージの連携について

（事務局より資料に基づき説明）

委 員 恥ずかしながら、このケンコーマイレージポイントカードを初めて見せてもらったのですが、実績的には376名で、実際のイベントでもカードを持って行けば、職員さんが対応して印鑑を押してくれるのですね。

事務局 私は実際献血をした際にポイントカードをもらってスタンプを押してもらったことがありますが、スタンプとイベントの番号が記載されるので重複でスタンプが押されることはないです。参加したら必ずひとつだけスタンプがもらえるようになっています。

委 員 期間は無期限でしょうか。去年は一年でしたね。

事務局 これについては、現時点で年度をまたいでも、そのまま次年度にということですね。

委 員 前のものは大きな紙だったので、持って行って何枚かもらったのですが、結局駄目になりました。

事務局 今年度はこういったスタンプカードというかたちをとっていきまして、これ自体に期限を設けていないと聞いております。

昨年までは試験的な実施もありましたのでポイント付与の期間も決められていましたし、使っていただける期間も決めてあったと思います。今これは、もう実際に運用になりましたので紙にもありますように有効期限もございませんし、通年やっていると聞いております。

委員 ただ地域の方では、年間行事として決めている部分があるので4月以降の行事のことについては、どのイベントにポイントを付与するのかは地域の中で決めてもらいます。ですから、付与イベント一覧のところの最後に地域づくり組織主催イベントとしては、3月で、一応、終了しています。これは地域の行事がまだ決まっていないという意味で、おしまいが3月9日の名張市民センター祭りで、いったん地域の方のイベントとしては、付与するポイント期間ということでおしまいを決めていますけども、このカード自身はそのまま持っていても、また4月以降も繰り越し使っていただけるというものでございます。

委員 すいません。参考資料2の2ページの裏の中頃にシニアクラブレクリエーション大会と、これ我々、老人クラブで実際やります。9月30日に時間が9：30から14：30と、この時間内だったら何時に行ってもスタンプは押してもらえるのですか。

委員 そのあたりの運用については、たぶん主催していただくシニアクラブさんか、まちの保健室なりが、もしくは市民センターがお話し合いされていると思います。この間で実施しているというのであれば、この間に行っていただくと押してもらえるかなとは思いますが。スタンプはイベントに貸し出すのではなく、センターに貸し出しをしているので、だから市民センターやったら何番と。

委員 そしたら、役所の方が来られるのではなく、センターやったらセンターの代表の方がスタンプを押してくれるということですか。

委員 センターの代表の方が押すのか、まちの保健室が押すのか、そこら辺は話し合いでもらっています。

委員 そしたらスタンプは一つしかないということですね。

委員 そうです。

委員 分かりました。

委員 健康診断について、たまたま昨日テレビで見たのですけれど、健康診断の受診率が悪いので、どうしたらいいのかというのをしていたのですが、特に女性の方、健康診断、乳がん検診など受ける方は主婦も多いですので、家にいるので、勤務先で受ける方の方が多いの統計に出ているそうです。主婦などの女性の方はどうしても受けていないということで、昨日テレビ見ていて、市町村の方はどうやって受診率を上げるのか、ということで何かのきっかけがないと行かないということですので、これはポイントをもらうために行こうかと、初めに来ても忘れて置きっぱなしになっているということで、忘れたころに一回これを送ったりしているそうです。こういうものを、受診をしない方に対して直接郵送しているそうです。これは、それとは別物かもしれませんが。そしてこの対象者はたとえば何歳からなのか、中学生でも貰えるのでしょうか。

事務局 実際には市民であればどなたでもということになります。ご参加いただいた方一人ひとりに、このカードをお渡しさせていただきます。

委員 子どもであっても貰えますか。

事務局 はい、貰えます。いろんなイベントがあるので健康診断とかでしたら当然受診をしていただいた人がいらっしゃると思いますが、今後、秋に催します「とれたてなばり」も子どもさんがたくさん来ていただくイベントですので、そちらの方でもスタンプは押させていただきます。

す。

委員 パツと見たときに20歳以上しかもらえないと思ってしまうので、書いてあった方がいいと思います。

委員 在住、在勤、在学ですね。勤められていてもいいし、学校に来られている方でもいいし、市民とは関係ないですね。

委員 在勤でも良いということですね。

事務局 そうですね。そういう取扱いをいただいています。

委員 健康のためには市民だけではないですよ。

委員 在勤だから他からきている方でもよろしいのですか。

事務局 そうですね。はい。名張市で働いてくれている人、そういう方でも対象にいただいていると、で、ポイントそのもの、昨年もこの取組をいただいていたので手前どもがしています公共交通の利用促進のイベントもこのポイント付与対象イベントの一つとしてスタンプを預かってうちの分を押させてもらっていましたが、是非、出来たら公共交通を使ってもらったらポイントが貯まるとか、そこまで発展していけば一番いいのですが、なかなかそうなるには把握も難しいので、まずは、こういうかたちで金券、乗車券にまず換えさせて頂くという取り組みを試験的に始めたいなというご提案でございます。

委員 カード引き換えの時は、別に証明などはないのですか。カードだけ持って行けばいいのですか。

事務局 そうですね。裏面にお名前とか書いていただく欄がありますので、そちらの方に必要な事項を書いていただくことにはなっています。

委員 そしたら、代理でもいいということですか。

事務局 そうですね。そのあたりのルール付けというのも、実際、乗車券と引き換えをするときにはしていかなければいけないと思いますけど、基本的にはこのカードをお持ちいただいてご住所、お名前を書いていただいた方で、ご本人様だということで記載をさせていただくことになろうかと思えます。

ですから、おひとり様一回だけというわけではなく、おひとり様、何枚使っていただいてもいいというような運用にされていますので、預かっている資料を見ますと30ポイント貯められた方が20名以上いてくれるということですので、すべてに参加していただく結構な枚数にはなってくるかなと思います。これまでこのポイントで集めていただいて引き換えというのはおかしいけれど、お買物券しかなかったもので、もしかするとポイントを貯めていただく対象も少なかったかもわかりませんが、これが何人くらいいらっしゃるかわかりませんが、これがバスの乗車券に換わるということで登録者というか、貯めてくれる人が増えるかもわかりませんが、連携の一つとしては手前ども、非常に期待している取り組みではあります。

委員 いかに名張市が健康に対して施策を進めているかというのがちょっと分かるのですけれども、この他にナッキー号以外にも取り組みはしているのですか。

事務局 今のところ具体的に進んでいるのはないです。所管している室で考えていただいていることはあるかもわかりませんが、把握しているのはそれくらいです。

現時点では、とれたて名張交流館でのお買物券としか出来ないということです。

委員 それでは少しアピール度が低いですね。ちょっと趣旨とは違うのですが、私、桔梗が丘に住んでいます。一覧表を見ていたら、桔梗が丘は一つしか対象イベントがありません。これでは5年かかります。

委員 それにつきましては、地域づくりの方で、かなり桔梗の自治会さんも考えてくれました。結果としてこれで行こうかという話になりましたので、また、次年度以降もこのケンコーマイレージは続いていきますので、住民さんの声があれば桔梗が丘も考えていくと思います。

委員 私も行ってきます。総務委員やっていますから。

委員 やっぱり、ちょっと難しかったのは、桔梗さんの場合は人がたくさん集まられるので、押し込んでいる暇がないというのが実情です。たくさんみえて、もしこれをするとなれば、そのブースだけで一杯になってしまうので、心配とか色々されていました。今年はこれ一個やってみて、その様子を見てみようということで、地域づくりさんも色々、考えてくれていますので、また、来年に期待していただいとしたいと思います。

委員 赤目もここには載っていないですがサロンをするということらしいです。

委員 追加もありますので、すべてがこれに網羅されていないと思います。これを作った時点が8月7日時点でしたので、その後協議していただいていたら載っていないこともあります。

事務局 昨年の実績ですけれど、地区別の数字もいただいています、桔梗が丘では参考までになりますけどポイントを交換していただいた方が25名となります。一番多い地区が百合が丘地区で52名の方が交換に来ていただいています。

委員 赤目は何人ですか。

事務局 赤目は、25名の方が交換されています。

委員 少ないですね。

事務局 ポイント交換者数が376名で、その内訳でございますが。

委員 紙が大きすぎて持ち運びが大変でした。一枚ずつ、どこへ行っても持ってこなかったからと余ったのが多いですね。

委員 このマイレージでどんどんナッキー号に乗っていただくきっかけ作りになっていただいたらと思うので、この事業を推進してもらった方がいいのですが、ただ、やっぱり気になるのは、この裏面に書いてもらってあるように金券なので、在庫管理になってくると市民センターでお願いするのは、事務的に大変ということになってきますので、市民センターが中継ぎをするようなかたちにしておいて、発行するのは市が直接、ご本人に送付するなどなるべく市民センターに負荷をかけないようなかたちをとってもらった方がいいのかなと思います。逆に市民の皆さんに、このことだけのために一回一回、都市計画室に来て下さいと足を運んでもらうのも、ナッキー号に乗るきっかけにはなるかもしれないけれども、これはご負担をかける話になるので、身近なところを経由して都市計画の方に申込書が届くような、そんな仕組みを考えていただいたら市民の皆様にとっても加減がいいのかなと思ったりもします。

もう一個のコミバスの方との取扱いということになってきますと、コミバスは一定料金じゃなくて距離によってとか、金額もまちまちの場合があるので、この上の段に書いてくれてある

金額設定、これ100円の5枚一綴りでいくのか、50円×10枚でいくのかというところにも関わってくる話かとは思いますが、当面、ナッキー号でしか対応しないのであれば、100円×5枚にしておいた方が管理をしやすいのではないかなと、その後、コミバスの方でも使えるようになってきたときに50円かける10枚というバージョンを増やせばいいのかなと思ったりします。やはり金券ですので取り扱いは慎重にしないといけないなと思います。

委員 今、ナッキー号のみということが進められようとしています。ほかのコミバスでの連絡などはされているのですか。うちには何でしてくれないのか、とはならないでしょうか。

事務局 まだ、この会議で協議をしていただいている段階ですので、まだ各地域の方に具体的にご相談はさせていただいていません。

ナッキー号については乗り継ぎの仕組みの中心となるものなので、そこに各地域のコミバスをご利用いただいて、こういった券をご利用いただければ、乗り継いでどこかに行こうかという気も、より起こりやすいかもしれないので、そういった意味ではナッキー号でまずは実施させていただくということもいいのかなと考えているところです。

委員 公平性を考えたらそうですね。

委員 他所でこんな相乗りしたようなイベントってあるのでしょうか。

部会長 しばしばあると思います。で、三重交通はエミカがあるのでコミバスをエミカに対応させて、エミカにチャージするとか、そういったことを実際考えられているところもあります。券を配布するといいましたけど、券を配布するのではなくてこれにハンコを押すと言っていましたけど、上からまたハンコを押すとか、ただ、これ一回使えば、もうこれはナッキー号しか使いませんよとするとか、昔よく電車であったようなカチカチをすれば分かるし、色んなやり方があると思います。そのあたりどうしていくのか、券を配布した方がいいのか、このまま使った方がいいのか、色々考えはあると思います。いずれにしても、僕は500円じゃなくてイベントに行っていただけなので、それならその往復分くらいは出してあげてもいいのではないかという気は個人的にはしているところですが、元々500円なので5回分になってしまうのですね。

委員 やはり市として施策していると、やはり市民全体が対象でないとは本来は中心だから、連絡の連携の元だからとか、そういう理由だけで、ナッキー号だけを対象にするというのも、ちょっと、私は対象の人間だからいいですが、対象ではない人たちに何をしているのということにもなりかねないと思います。対象にする内容を、詰めるだけでいいので、それは予算化の問題もあるのかもしれませんが、それは必要ではないでしょうか。

委員 ただ、一足飛びにというわけにもいかないもので、まずは、どんなものかなという所から始めていかないとと思います。

事務局 需要というかニーズを見極めたいなと思います。

委員 その辺はあります。だからそういう所をきちっと説明ができるような状況にしとかないと、1年やってみて、2年やってみて、それどうなのっていうところの期待を持っておられる人たちに、きちっと説明していただければと思います。

部会長 あと、他何かございませんでしょうか。あと有効期限をどうするのかという所も議題にあがっているところですけども、発行から一年にするのか、じゃなくて一年に限らずとするのか。

管理する側からすると、おそらく一年にした方が管理しやすいかと。

事務局 出来たら有効期限がある方が、バス事業者さんも忘れたころに出されたらということもございます。実は名張にエコポイントというのがありまして、当時のエコポイントでたまたまナッキー号に乗れますというような取り組みをさせていただいていましたけども、有効期限の取扱いがはっきりとしていなくて、たまに忘れたころにドライバーさんが見せられまして、これ何だろうということもあつたらしくて、そういうことがない様に、まあ、出来たら有効期限を設けさせていただいた方がいいのかなと思わせてもらっているのですけれど。

委員 乗車を促進するという意味では有効期限を定めた方が乗ってもらいやすいのかなという気はいたします。

委員 有効期限を定めるということは、交換した日からの有効期限になるのですか。

事務局 はい。

委員 皆さんが交換する日にちが違えばそういう点では取扱いとしては楽でしょうか。

部会長 月単位ですから基本的にはそうだと思います。

委員 まあ月くらいですかね。そうでないと事務的は大変ですからね。

事務局 実務的にはカードの様式を作っておいて、何月末有効とスタンプを押しておいてお渡しできるということになるのではないかなと思います。

部会長 ちなみに譲渡してもOKですか。

委員 子供と一緒にイベントに行ったら、ふたつずつになるわけですから、子どもが使うというよりおばあちゃんに、となると思います。

委員 これも特に制限はないのですよね。

事務局 そうですね。

委員 やはり有効期限は必要だと思います。どんなものでも、いついつまでに行かればと焦りがあつたら行こうかなとなりますし、これを次もらうために、もし有効期限がなかったら、別に行かなくていいという人がいたりすることを考えると、やっぱり有効期限はあつた方がいいと思います。

委員 ケンコーマイレージは有効期限つかないのですよね。

事務局 これ自体はないのですが、交換後の乗車券の有効期限にはつけようかということです。

委員 こっちも有効期限あつた方がいいですね。

委員 今言ったように、桔梗が丘では対象がひとつです。そしたら有効期限は5年あります。まあ、そうはかぎりませんがね。実際。そういうのに積極的に参加しようというのが目的だから、あまり有効期限を限つたらいけないのかもしれないかもしれません。

事務局 地域主催のイベントに併せて市主催のイベントでももちろんいただけますので。

委員 市主催のイベントもありますしね。つつじが丘はないですね。

委員 つつじが丘はナッキー号が走っていないですね。

委員 たまに地域の祭りがやっていますので、そこにつければいいのではないのでしょうか。

委員 そういう意味ではナッキー号だけで事業が進められているのが、もちろんいいことなのですが、もうちょっと広げて対象にならない人にも、対象の範囲を広げるような施策を、是非やっていただけたらと思います。

委員 コミバスとして美旗のはたっこ号や錦生のほっとバス錦とかルートを決めて走っている本来のコミバスというものと、つつじが丘の中を走っているハートバスであったり百合が丘の百合バスであったり地域づくりのほうで運行している移動支援もあります。他のコミュニティバスの取扱いは、市内コミュニティバスでも使用できるように検討するという中には狭い意味でいえば路線を決めて走っているはたっこ号やほっとバス錦みたいなものもあるけれど、大きい意味で外出支援の意味でとらえるのであるなら、百合バスであったりとか、つつじのハートバスであったりとか、どこの範囲まで広げるかっていうのは、この、そもそもケンコーマイレージの主旨に照らし合わせて考えていって、それに相乗りでナッキー号の乗車を増やしたりとか、地域のコミバスの乗車を増やしたりというところを狙い目としているので、次の段階に持って行かないと、今いきなりここですべてを広げるといえるのは、ちょっとしんどい部分がありますので、2段階、3段階で次、次という風に考えていかないと、大変になるかと考えます。また、赤目や桔梗が丘もそうですけどドア to ドアでやっている場合もありますので、外出支援という意味でそれをするなら、そこにもこの事業をするかという話になってきますが、それをする、絶対に収拾がつかなくなります。どこかである程度の線引きを、目的に照らし合わせて範囲を拡大する場合と、逆に線引きをしてここまでって範囲を決めてしまわないと収拾がつかなくなるとこともありますので、そこらへんをもう少し練り込んだ方がいいのかなと思います。さっきおっしゃっていただいたように、名張市にもう少しお金があれば、ケンコーマイレージカードも最初にチャージ方式も考えたのですけれども、あのカードを作るために600万円とか、ものすごい金額がかかってきて、この昔ながらのスタンプを押す方が経費的にはかなり格安でできる。何枚でも発行出来るというのがあって、この紙方式なんです。当初、これを導入するときには、読み込みのリーダーから全部、揃えようとしたら1000万円近くお金がかかるということで、とても出来ませんという話もありましたので、エミカであったり、そういったものと今後、どうやってしていけるか、どうかというところもあります。

部会長 連携がうまくいけばなんですけれど、なかなか三重交通さんは門戸を広げてもらえないですね。今、実は三重交通さんも色々と考えられていて、ちょっと脱線しますが、なかなか三重交通単体だけで、この先、長く事業をやっていくことは厳しいというお考えをもっておられるようで、やっぱりそうなる地域と一緒にということで、乗り継ぎ割引とか色々考えておられますが、地域で乗るなら、もうそこは同料金でやりましょうという議論が三重交通さんの中であるそうです。ただ、その場合にはエミカがどうしても必要になってきまして、エミカでピッと行けば乗り継ぎしても、そこ料金とらないよという風にすれば問題ないですが、券をわざわざ発行するとなれば手間になりまして、そうなったときに名張はコミバスさんが三重交通さんでない事業者もいらっしゃるので、そのあたりをどうしていくのかというのがあるのですが、一応、確認させていただいたら、前は三重交通さんの、確か名張の公共交通会議でだと思いますが、乗り継ぎ券の発行は、労働組合が反対するから出来ないとあったと思いますが、実は確認しましたら、事前に言うだけだったら労働組合と交渉して、おそらく出来ますということだったので、そういったことも考えつつ、乗り継ぎ割引とか、そのあたりも考えていかなければならないのかなと思っているところですけども、まずは、

でもその地域内のコミバスの料金の統一など、そっちを先にやらないと話がまとまらないと思います。それはまた別の連携協議会の方で考えていただいていますので、そちらの方にお任せしたいと思います。とりあえず、この健康マイレージの連携ですけど、金額設定は100円の5枚でということと有効期限も1年と決めさせていただいて、交換方法については事務局の方でご検討いただいとということになるかと思しますので、他のコミバスの取扱いについては、今後の課題ということで、まずはナッキー号で、需要等々、探って、ほかのも使いたいという、もし利用者の方の意見があつたりとか、需要が多かつたりする場合には、出来るだけ早めに市内の別のコミバスでの対応を検討していくということをしていきたいと思ひます。また後からご意見をお伺ひしますので、事項書の2番の方に移らせていただきます。

(2) 行き先別時刻表の設置について

(事務局より資料をもとに説明)

委員 山城屋さん側のバス停は着だけで発はないのですか。

事務局 発もあります。

委員 正面玄関前だけの設置でいいのでしょうか。前の会議で議会棟前から出るバスもあつてわからない人がいるという話が出ていましたよね。こちら側は雨風をしのげる場所もないですが。

事務局 そうですね。市役所の案内にも置かせていただこうと考えておひまして、そちらに来ていただいた方には直接紙をお渡しできるのですが、議会棟前で直接待っていただいている方に対しては待合所に一覧の時刻表がありますといった案内を付けて誘導するといった方法を考えています。

委員 2カ所あるので難しいですね。

事務局 少し、補足説明ですが、設置にあつて相談させていただいたところでの反応だけお伝えさせていただきます。三重交通さんにつきましては、名張駅西口の出張所に置くことはおそらく問題ないだろうということで、屋外のバスの待合スペース等の設置については、雨風の問題と利用者の方に設置するボックス等の落下によるけがが無いようにということでそのあたりの心配をしていただいておりますので、設置するものの材質についてもご意見をいただきました。市立病院につきましてはこんな時刻表欲しかったといういい反応でした。試験的にフロントで使っていただくためにサンプルをお渡ししております。アピタ名張店さんの方でも独自で工夫して時刻表を作つていただいたりしているところでしたが、評判は良かったです。イオンさんについても設置することには問題ないと言つていただきました。1点だけ、市立病院につきましてはバス停が3つあり当初の案ではバス停で分けて時刻表を作つていましたが、それを一本化してほしいという要望もありましたので、そういう方向で変えていこうと考えております。

委員 設置箇所の数の制限はないのですか。

事務局 特段ございません。

委員 例えば人の集まるような個人経営の病院や商店にも追加で置くことはできませんか。

事務局 需要があれば置きたいと考えておりますが、この時刻表の作り方が主要な場所から主要な場

所まで行く方法を促す時刻表となっておりますので、その場所以外に置く必要があるのかということもございます。

委員 突飛なところに置くのは無理だと思いますが、途中のバス停であれば可能になりますか。

事務局 そうですね。逆に言えばナッキー号の車内に備え付けておいて必要ところで持って行っていただくとか、そういったかたちは考えられますね。

部会長 これは起点と終点が決まっているので、例えば駅からイオンまでの時刻しか載っていません。その間にあるようなバス停の時刻は載っていないので、これを途中で持った人が自分のところのバス停が何時発かは目安でしかわかりません。あくまで主要施設を結ぶ時刻表です。

委員 例えば病院から何処に行くかという病院専用の時刻表になるのですね。

事務局 そうですね。しかも行き先が主要な場所に限定されたといった感じですね。

委員 途中のバス停があったら効果はあるかもしれませんが、途中のものは載っていないのですね。

委員 この時刻表は配布用と掲示用がありますね。貼りつけるものはラッピングか何かをして貼るというイメージでしょうか。

事務局 そうですね。

委員 設置場所の市役所の待合所は腰から下に設置するのだとかがまないと見えません。アピタさんのサービスカウンターも下の方に貼りつけてあってあまり見えませんね。もちろん掲示板など見やすいところもありますが、目につきにくくかがまないといけないような位置に貼るのはどうかと思います。また、桔梗が丘駅西口の掲示板ですが、これは桔梗が丘西2, 3, 4, 5番町の自治会が管理してまして、催し物でいっぱいになることもあります。1枚だけの話なので交渉すれば貼ることはできると思います。

事務局 桔梗が丘駅は貼るスペースも悩ましいところありますが、基本的には皆さん駅で待つというよりも従来近鉄プラザの中で時間をつぶしながらといった時間の使い方していただいていたので、今新しく商業施設もオープンしましたので、その中の休憩スペースにも置いていただけるようになればいいなと今思いました。それと市役所前の待合室ですが、非常に殺風景で、ここを公共交通全ての情報発信のブースにしたいと考えておりまして、中に回転式のラックなどを用意しまして、この時刻表ももちろんそうですし、他のコミュニティバスの詳細な時刻表や公共交通網で行ける主要施設やおでかけマップなども置いていきたいと思っています。

委員 この写真を見るとどこに貼るのかと思いました。ガラス張りで腰以下の高さにはしか貼れないですね。

委員 確かに貼る場所や字の大きさも気を付けなければいけないと思います。貼っても読めなければ効果はないと思います。

事務局 先般別の会議でもこの時刻表を見ていただきまして、字が小さいなどいろんなご意見もいただいたところですので、できるだけ見やすく作っていきたくと思っています。

委員 設置場所は無料で置いてもらえるのですか。

事務局 もしかすると近鉄さんあたりはものによって占用料がかかるかもしれません。

事務局 事務局としては設置に悩ましいところもありますが市立病院やアピタ、イオンについては設置することについて前向きに言っているため、設置できる場所からして、その

反応を見ていきたいと思います。せっかく作ったものですので、ぜひ広めていきたいと思うので、その点についてもよろしく願いいたします。

委員 ケースに「散策コース」などシールを張っているのはいいと思います。

事務局 こちらはたまたま街歩き用のケースに入れているものになりまして、見本として挙げているものになります。

委員 シールがあった方が駅に置く場合は観光客などの方にふと手に取ってもらえると思います。事務局 確かにこういったナレーションもいいですね。お買い物コースなどと書いてあればどこに行くかもわかりやすいですね。

委員 市民の方だけではなく、観光客をとりこんで乗っていただくことで、最終目的の増収につながると思います。

委員 できるところから手を付けて、少しずつ改善ということですね。

部会長 議事の1つ目も含めまして、ほかにご質問、ご意見、ご感想ありますか。

委員 連携協議会には時刻表の設置について検討しているということは伝わっているのでしょうか。

事務局 そうですね。全体会議を通じてもそうですし、利用促進にむけての取組や共通仕様の件についてもご報告はさせていただいております。

委員 こちらからの提案を受けての返答はありませんか。

事務局 取扱については周知させていただいております。今をもってすべての仕様を変更するというものではございませんので、今後更新する際には内容をふまえて作ってくださいということはお伝えしています。

委員 これまでこちらで議論を重ねてきたことが連携協議会の方でどのようになっているのかという戻しがないので、せっかくこちらで議論していることが肝心のところで伝わっていないというのはショックですから、時々そういったこともフィードバックしていただければと思います。

事務局 そうですね。報告させていただきます。

委員 時刻表の設置についての情報提供はもちろんとして、これを見てコミュニティバス同士の乗り継ぎなど次の段階は連携協議会で考えてもらえるのですか。前にはたっこ号バスマップを見せてもらいましたが、他のところとナッキー号との乗り継ぎや時刻表などは検討していただいているのですか。

事務局 各運行事業者さんに向けてはそれぞれの乗継拠点での乗り入れ状況を検証いただける資料はお渡ししてあります。数分程度の調整で済むところがあったら検討していこうというお話はいただいています。そのダイヤの調整の前にコミュニティバスの地域を越えた運行などをどうしていくかということを中心に話を進めていただいている状況です。

部会長 実は今言った時刻表ですが、コミュニティバス同士の連携はすぐできるかと思いますが、三重交通さんのバスは年々替わっていくのでその都度直さないといけないので名張は意外と本数があるので、意外に難しいかもしれません。しかも近鉄特急に合わせるといったのも合わせてくるとさらにハードルが上がってきますし、もう少し人口の多い都市ではそういったことはほぼ考えていません。全部考えようと思うとなかなか難しいです。そういうのを専門

でやられているプログラマーさんがいらっしゃいまして、私も研究でプログラムを使いますが、乗継の結果がどうなるかは膨大な結果が出てきますので、それをまとめるのが難しいみたいです。それが1年で替わってくるとなるとまたプログラムを変えないといけないので、どこで妥協するかだと思います。例えば乗り継ぎの待ち時間を20分とするのか、10分でないかだめだとか制約があると思いますが、ちょっとの時間がずれているところは把握していただいているので、そういったところは直していきましょうというところがあります。実は伊勢市さんが新しいバスを走らせるんですが、全体の連携はあまり考えていません。循環で30分くらいなのでそれだけ待ってくださいというスタンスです。

委員 近くにお店があれば買い物でもできるのですが、外れのところだったら3、40分待つのは厳しいですね。

委員 関係ない話ですが、最近テレビでサイコロを振って路線バスで旅をして飲食店を探すというのがとても面白くて名張にも来ればいいのにとおもいます。ここで降りて歩けばこんな店があるとか。

委員 マイレージのポイント交換者数376人というのは全体の人口から考えると少ないのではと思います。

委員 取組が始まったのが秋を過ぎてからでしたので、少なくなっています。

事務局 期間限定でしていたということもあります。

委員 いろいろ準備をして始まったのが秋ごろでしたので、それを考えれば多い方だと思います。

委員 配布はどこでしているのですか。

事務局 イベントのときにスタンプを押して渡しています。カードもそこでもらえます。この取組はポイントをいくら換金してくれたかが目標ではないと思います。検診を受ける人が増えた、イベント参加者が増えたなど評価すべきはそこだと思いますので、これが一助になっていけばいいと思います。

委員 一覧でイベントがわかるのはいいですね。市政だよりで来月何があるかを見ても忘れてしまうので、見てみると毎週くらい何かはあるのでいいと思います。

事務局 名張市の広報に毎月のイベント情報が載っていますが、ケンコーマイレージ対象のイベントにはマークがついています。

委員 例えば昨日救急医療週間の医師会主催の講演会がADSホールであり私も参加しましたが、最初にスタンプを押してしまうと帰る方がいるので必ず最後に押すようにしています。そうすると皆さん最後までいてくれて、700人のホールが500人くらい埋まりました。こうやって皆さんに出てきてもらうきっかけを作っておけば、後は主催者の力量なのでいい仕組みだと思います。イベントが終わった後はスタンプコーナーに人が殺到していました。

事務局 1つのきっかけとしても大きいですね。

委員 大概のイベントには行くのですが、常連の方が必ずいます。お出かけを促すものなので顔なじみになれていいと思います。

事務局 今年事業推進部会で予定しているイベントにもマイレージ対象のものもございます。配布させていただいているチラシにもありますが9月22日に「交通安全フェスタなばり」で公共交通の利用促進コーナーを設ける予定です。こちらにもケンコーマイレージ対象ですので、今

日お配りしたカードをお持ちいただきお越しいただければと思います。

4. その他

事務局 まず、口頭での報告になりますが、事業推進部会で合わせてご検討いただいております、駅出口付近のバス乗り場のピクト表示にどこに行くバスかという情報を補完するバス乗り場案内板の設置についてです。実際の設置にあたり近鉄の営業課の方にご相談をさせていただきました。掲示の方法は2つあり、プラスチックなどしっかりした看板のかたちで設置する方法とラミネート加工をして仮表示として設置する方法があります。簡易なかたちで設置する場合は駅長の許可を得たうえで、3か月限定で付けることができます。引き続いて掲示する場合は更新手続きが必要になります。看板で設置する場合は構内での安全性の観点から設置については近鉄のグループ会社で対応するのでその費用負担をしていただくということでした。現在近鉄ではそういった案内はどちらにこういった施設があるのかという絵の表示しかないそうです。また、それ以外の看板はあまりつけないようにしているとのことでした。その中で1度掲示するものを遅くなりましたが担当の方に見ていただこうと思います。そのうえで、まずはきっかけ作りとしてラミネート加工をした紙のものを設置いたしましてそれがご利用いただいている方が好評でしたら予算をとって看板をしていきたいと思っておりますので、進捗につきましては後日お知らせいたします。

次に、三重県の取組で見える化プロジェクトというものがございます。というのは、ジョルダンやナビタイムなどの検索サイトで名張市内のコミュニティバスが検索できるようになるという事業となっております。そちらが今契約段階まできており、その中で、ナビタイムさんに10月末から11月初めに検索サイトやアプリに実装される予定となっております。また、事業推進部会の取組としてとれたてなばりでのお絵かきバスの実施のお知らせをいたします。11月10日（土）にございまして、委員の皆様にも顔を出していただければと思います。

部会長 ほかにございませんか。それでは平成30年度第2回名張市地域公共交通会議事業推進部会を終了させていただきます。ありがとうございました。

※次回開催：10月11日（木）予定